

地球環境保全活動で社会貢献<リソルゴルフ> 吉野山の「リソルゴルファーの森」に植樹 ビオトープ「リソルゴルフ 花といきものの里」にも記念植樹

リソルグループ（本社・東京都新宿区）のリソルゴルフ株式会社では、地球環境保全活動の一環として「いっぽから、いっぽん」キャンペーンをグループコースで開催し、ゴルファーの健康促進を図るとともに、森の創造維持を図るべく、プレーヤーの合計歩数によって寄付を行い、奈良県吉野町の「リソルゴルファーの森」へ植樹をおこなっています。この度、11月12日に奈良県吉野町において植樹イベント（本年3月に続き3回目）を開催し、また、今春新たに吉野山に確保された「リソルゴルファーの森」及び吉野駅そばに造成中のビオトープ「リソルゴルフ 花といきものの里」に関しての調印式をおこないました。

植樹式には、吉野町の北岡町長はじめ吉野教育委員会や国土緑化推進機構、吉野中央森林組合等の関係者と植樹を担う地元こども園の園児、そのご家族約20名が参加しました。はじめに『リソルゴルファーの森』の新看板の除幕式がおこなわれ、続いて園児たちが育てたクヌギ（どんぐり）の苗木が園児とご家族及び関係者の手で1本1本丁寧に植樹されました。

調印式は、「リソルゴルファーの森」及びビオトープ「リソルゴルフ 花といきものの里」に関して各地権者及び関係者でおこなわれました。更に「リソルゴルフ 花といきものの里」の新看板除幕式がおこなわれ、2本の柳の若木が記念植樹されました。3年後にはホテルが飛びかう自然と人が触れあう場所を目指して「リソルゴルフ 花といきものの里」が整備される予定です。

リソルグループは、今後も地球環境保全活動に取り組み社会貢献に努めてまいります。

※『ビオトープ』（BIO+TOPE）とは、もともとはドイツ語で、「生きものたちが生きているところ、生きものすみか」という意味。

将来、このビオトープを通して地元の子どもたちが自然のしくみを学ぶ場として、あるいは人と自然が関わる場として活用される計画です。

▼除幕式、調印式



▼どんぐりの苗木を子どもたちと一緒に植樹



▼次回の植樹のためのどんぐりの種植え



<本リリースに関する問い合わせ先>

リソルホールディングス株式会社 (RESOL グループ) 広報担当/高橋・永田

TEL : 03 (3342) 0331 (直通)

E-mail : press@resol.jp

URL : <https://www.resol.jp/>